

平成 21 年度 区取組み方針中間振り返り 進捗状況シート 総括表

○具体的取組・戦略の進捗状況

具体的取組の進捗状況		戦略の進捗状況	
①：達成又は年度内に達成する見込み (84%)		A：当初の想定以上の成果が見込める	1
		B：当初想定したとおりの成果が見込める	35
②：達成できない可能性がある (16%)		C：当初想定した成果が見込めない可能性がある	6
		D：当初想定した成果は見込めない	0
③：達成の見込みなし (0%)			
計	(100%)	計	42

○区取組み方針の取組みにかかる区長の総括的認識

・平成 21 年度区取組み方針の具体的取組みの進捗状況については、「達成又は達成見込」84%、「達成できない可能性あり」16%、「達成見込みなし」0%となっており、取組み方針に掲げた項目の一部を除き、業績目標達成に向けて順調に推移していると認識している。また、戦略の進捗状況についても、「想定以上又は想定した成果が見込める」が 36 項目、「想定した成果が見込めない可能性あり」が 6 項目、「想定した成果が見込めない」がなしとなっていることから、達成目標についても概ね到達できる状況にある。

・特に今年度事業の重点項目の一つとして位置づけている駐輪対策については、3 駅の協議会の定期的な開催や、啓発活動の実施、休日の整理作業員による啓発・指導などを行っており、いまだ自転車利用者の意識改革には至っていないものの、徐々に成果をあげつつある。また、防災や防犯対策の事業についても、各連合でのワークショップや種々の防災訓練の実施にくわえ、区民から公募した区民啓発パトロール隊が発足するなど、これも市民との協働事業として着実に進んでいる。

しかしながら、いずれの事業についても区民として参加しているメンバーは特定の人に偏っている傾向があり、今後、区全体の取組みとしての拡がりをもつためには、より広範な区民の参加を求めていく工夫が必要不可欠であると考えます。

・一方、国民健康保険料の未収額の圧縮については、後期高齢者医療制度導入に伴う口座振替加入率の落ち込みや、昨今の景気低迷、失業率の上昇などにより、目標の達成が難しい状況となっているが、滞納処分の早期実施や不現住調査、集中的な督促などできる限りの手法を使いながら、目標達成に向けて努力していく所存である。

・いずれにしても、「誰もが安心していきいきと暮らせる潤いとぬくもりのあるまちの実現」をめざして、区民との協働を推進しながら、市民満足度の高い区政の推進をおこなっていく。